

<研究名称>

「高齢者 2 型糖尿病患者における血糖コントロールの安定化と治療の簡素化を目的とした週 1 回 G L P - 1 受容体作動薬デュラグルチドの有効性と安全性の検討」

<実施責任者>

糖尿病・内分泌内科 副院長 森川 秋月

<研究期間>

倫理委員会承認後

<研究の目的・意義>

週 1 回の G L P - 1 受容体作動薬によって、高齢者 2 型糖尿病患者において、血糖コントロールのみならず、治療の負担軽減が実現されているか検討する。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

「後ろ向き観察研究」

- 1) 当院通院の 2 型糖尿病患者において、65 歳以上で現在デュラグルチドの投与を継続している患者を DWH で抽出する。
- 2) 糖尿病治療薬について、デュラグルチド開始前の治療内容と開始後の治療内容を比較する
- 3) 評価は以下の 4 点について行う
 - a) 治療は簡素化されたか？（インスリン離脱、注射回数の減、内服剤数・服用回数の減など）
 - b) 血糖コントロールは改善したか？（H b A 1 c 値の前後比較）
 - c) 安全性の評価（低血糖の有無、消化管症状を含む副作用の有無）
 - d) 患者・家族の負担は軽減したか？（デュラグルチド投与者、服薬管理者の確認）

<実施の責任者および実施にかかわる者の氏名、所属、職名>

実施責任者 森川秋月、糖尿病内分泌内科、副院長

共同研究者 森川裕子、高橋耕平、池知佑太、糖尿病内分泌内科、医師

<倫理上問題になると考えられる事項、及びその他特記すべき事項>

結果は学会発表等で公開される予定だが、

結果は統計処理されたデータで示され、個別の症例提示は含まれず、個人情報が開示されることはない。

電子カルテ内容を検討する後ろ向き観察研究であり、治療薬の前向き介入は行わない。

結果は学会発表等で公開される予定だが、
結果は統計処理されたデータで示され、個別の症例提示は含まれず、個人情報が開示されることはない。

電子カルテ内容を検討する後ろ向き観察研究であり、治療薬の前向き介入は行わない。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 副院長 森川 秋月

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648